



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 スズキ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7269 URL <https://www.suzuki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 俊宏

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 経営管理・IR・原価管理部 長 (氏名) 小林 聖慈

TEL 053-440-2030

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,175,532	17.2	138,777	18.6	174,887	10.2	113,249	2.8
2020年3月期第3四半期	2,626,070	7.5	170,433	33.6	194,764	36.4	116,564	35.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 159,206百万円 (35.4%) 2020年3月期第3四半期 117,599百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	233.33	233.30
2020年3月期第3四半期	251.36	251.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,827,039	1,896,687	41.4
2020年3月期	3,339,783	1,793,657	44.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,584,834百万円 2020年3月期 1,487,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		37.00		48.00	85.00
2021年3月期		37.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2021年3月期の配当予想につきましては、未定といたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000,000	14.0	160,000	25.6	180,000	26.7	110,000	18.0	226.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	491,098,300 株	2020年3月期	491,067,800 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	5,540,320 株	2020年3月期	5,735,335 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	485,367,150 株	2020年3月期3Q	463,730,379 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通しについては、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル/円相場、ユーロ/円相場、インドルピー/円相場)などが含まれます。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2021年2月5日(金)に当社ホームページ(<https://www.suzuki.co.jp>)に掲載しています。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

(当期の経営成績)

当第3四半期連結累計期間(4~12月)の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大により世界的に景気は減速し、依然として当社グループの業績にも影響を及ぼしています。

特に第1四半期連結会計期間(4~6月)におきましては、各国政府による行動制限措置の実施などに伴い、国内外の拠点において、従業員の出勤規制およびサプライチェーンにおける部品の供給遅延などによる生産停止、減産、および販売停止といった影響が発生しました。

第2四半期連結会計期間(7~9月)におきましては、当社主力市場の日本およびインドでのロックダウン解除に伴い、生産・販売活動の正常化が進みました。

続く当第3四半期連結会計期間(10~12月)におきましても、インドでの祝祭シーズンの好調等、生産・販売活動の正常化が進みましたが、一方で新型コロナウイルス変異種の感染拡大や半導体不足、原材料価格の上昇など当社を取り巻く経営環境は極めて不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、第1四半期連結会計期間の減収減益を7月以降のインド、日本での販売回復や経費削減努力等でカバーできず、連結売上高は2兆1,755億円と前年同期に比べ4,506億円(17.2%)減少、営業利益は1,388億円と前年同期に比べ316億円(18.6%)減少しました。

経常利益は金融収支の改善もありましたが、1,749億円と前年同期に比べ199億円(10.2%)減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益119億円の計上もあり1,132億円と前年同期に比べ34億円(2.8%)減少となりました。

<セグメント別の業績>

(四輪事業)

当第3四半期連結累計期間は、第1四半期連結会計期間の減収減益を7月以降のインド、日本での販売回復や経費削減努力等でカバーできず、売上高は1兆9,618億円と前年同期に比べ4,153億円(17.5%)減少、営業利益は1,266億円と前年同期に比べ300億円(19.1%)減少しました。

(二輪事業)

大型二輪の販売シーズンである第1四半期連結会計期間の落込み、さらにインド、アセアンなど小型二輪の販売減少の影響により、当第3四半期連結累計期間では売上高は1,454億円と前年同期に比べ368億円(20.2%)減少し、営業損失14億円となりました。

(マリン事業他)

北米を中心とした大型船外機の販売好調により、当第3四半期連結累計期間では売上高は683億円と前年同期に比べ15億円(2.3%)増加し、営業利益は136億円と前年同期に比べ2億円(1.5%)減少しました。うち、マリン事業の業績につきましては、売上高は596億円と前年同期に比べ34億円(6.0%)増加、営業利益は116億円と前年同期に比べ4億円(3.4%)増加となりました。

<所在地別の業績>

当第3四半期連結累計期間の所在地別の営業利益につきましては、日本およびその他地域は前年並みとなりましたが、欧州およびアジアは減益となりました。

(当期の財政状態)

・資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は3兆8,270億円（前期末比4,873億円増加）となりました。負債の部につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の見通しが不透明な中、手元資金を十分に確保すべく、第1四半期連結会計期間において4,000億円の新規借入を実施した結果、有利子負債残高は7,853億円（前期末比3,811億円増加）となり、負債の部合計では1兆9,304億円（前期末比3,842億円増加）となりました。純資産の部は、1兆8,967億円（前期末比1,030億円増加）となりました。

自己資本比率につきまして前年度までは45%を目標として改善に取り組んで参りましたが、第1四半期連結会計期間において新規借入を実施したことに伴い低下し、当第3四半期連結会計期間末では41.4%となりました。今後も、資金確保とのバランスを見ながら、自己資本比率の改善を重要な経営課題として取り組んで参ります。

・キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は8,792億円となり、前期末に比べ4,588億円増加しました。当第3四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、第2四半期連結会計期間以降の業績回復に伴い、2,696億円の増加（前年同期は1,787億円の資金増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、日本およびインド等での有形固定資産の取得による支出等により、1,409億円の減少（前年同期は1,863億円の資金減少）となりました。

その結果、フリー・キャッシュ・フローは1,287億円の増加（前年同期は76億円の資金減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、第1四半期連結会計期間において新型コロナウイルス感染拡大の見通しが不透明な中、手元資金を十分に確保すべく4,000億円の新規借入を実施したことに伴い、3,242億円の増加（前年同期は516億円の資金増加）となりました。

(2) 今後の見通し

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、依然として新型コロナウイルスの動向が不透明であり、また原材料価格や部品供給の問題等もあることから、前回予想を据え置きとさせていただきます。

(連結業績予想…通期)

売上高	3兆円（前期比14.0%減）
営業利益	1,600億円（前期比25.6%減）
経常利益	1,800億円（前期比26.7%減）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100億円（前期比18.0%減）
為替レート	1米ドル=106円、1ユーロ=120円、1インドルピー=1.43円、 100インドネシアルピア=0.73円、1タイバーツ=3.38円

※連結業績予想については、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき算出したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、さまざまな要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル/円相場、ユーロ/円相場、インドルピー/円相場)などが含まれます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	485,808	932,828
受取手形及び売掛金	427,358	392,850
有価証券	118,584	100,471
商品及び製品	245,409	256,466
仕掛品	47,420	47,086
原材料及び貯蔵品	62,662	59,099
その他	155,349	144,466
貸倒引当金	△2,871	△3,179
流動資産合計	1,539,722	1,930,089
固定資産		
有形固定資産	920,144	939,471
無形固定資産	1,604	1,474
投資その他の資産		
投資有価証券	662,194	742,420
その他	216,713	214,237
貸倒引当金	△445	△395
投資損失引当金	△150	△258
投資その他の資産合計	878,312	956,004
固定資産合計	1,800,060	1,896,950
資産合計	3,339,783	3,827,039
負債の部		
流動負債		
買掛金	257,996	300,580
電子記録債務	71,869	80,978
短期借入金	195,598	506,417
1年内償還予定の新株予約権付社債	2,972	-
未払法人税等	22,310	38,526
製品保証引当金	243,920	181,092
その他	430,838	430,813
流動負債合計	1,225,506	1,538,409
固定負債		
新株予約権付社債	8,560	8,560
長期借入金	197,064	270,326
その他の引当金	15,898	16,252
退職給付に係る負債	67,206	60,862
その他	31,889	35,940
固定負債合計	320,619	391,942
負債合計	1,546,126	1,930,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	138,202	138,262
資本剰余金	146,490	143,410
利益剰余金	1,414,665	1,486,653
自己株式	△21,775	△21,026
株主資本合計	1,677,583	1,747,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,455	108,722
繰延ヘッジ損益	△269	△319
為替換算調整勘定	△255,266	△250,171
退職給付に係る調整累計額	△21,951	△20,698
その他の包括利益累計額合計	△190,032	△162,465
新株予約権	115	115
非支配株主持分	305,990	311,738
純資産合計	1,793,657	1,896,687
負債純資産合計	3,339,783	3,827,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,626,070	2,175,532
売上原価	1,890,593	1,569,687
売上総利益	735,476	605,845
販売費及び一般管理費	565,043	467,067
営業利益	170,433	138,777
営業外収益		
受取利息	22,822	30,748
受取配当金	3,178	5,143
持分法による投資利益	4,378	4,912
その他	6,414	7,561
営業外収益合計	36,794	48,365
営業外費用		
支払利息	3,705	3,408
為替差損	3,303	952
その他	5,454	7,895
営業外費用合計	12,464	12,256
経常利益	194,764	174,887
特別利益		
固定資産売却益	752	496
投資有価証券売却益	10	11,915
特別利益合計	763	12,411
特別損失		
新型コロナウイルス関連損失	—	※ 15,428
固定資産売却損	162	961
減損損失	565	1,079
特別損失合計	727	17,469
税金等調整前四半期純利益	194,799	169,828
法人税等	54,917	43,666
四半期純利益	139,881	126,161
非支配株主に帰属する四半期純利益	23,317	12,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,564	113,249

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	139,881	126,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,992	33,843
繰延ヘッジ損益	△938	74
為替換算調整勘定	△41,456	△2,488
退職給付に係る調整額	1,056	1,598
持分法適用会社に対する持分相当額	△935	17
その他の包括利益合計	△22,282	33,045
四半期包括利益	117,599	159,206
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103,035	140,815
非支配株主に係る四半期包括利益	14,564	18,391

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	194,799	169,828
減価償却費	118,819	96,782
減損損失	565	1,079
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,288	83
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12,788	△6,664
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,627	△63,443
受取利息及び受取配当金	△26,001	△35,891
支払利息	3,705	3,408
為替差損益(△は益)	302	952
持分法による投資損益(△は益)	△4,378	△4,912
有形固定資産売却損益(△は益)	△589	465
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	△11,915
売上債権の増減額(△は増加)	46,178	42,309
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,710	2,500
未収入金の増減額(△は増加)	△7,620	21,126
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,269	48,534
未払費用の増減額(△は減少)	△42,388	△21,705
その他	△5,183	25,142
小計	207,768	267,679
利息及び配当金の受取額	25,798	36,196
利息の支払額	△3,472	△3,231
法人税等の支払額	△51,346	△31,029
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,747	269,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△72,321	△64,228
定期預金の払戻による収入	63,982	74,733
有価証券の取得による支出	△563,148	△232,016
有価証券の売却及び償還による収入	599,263	227,703
有形固定資産の取得による支出	△190,899	△126,805
その他	△23,225	△20,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△186,348	△140,922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△417	165,267
長期借入れによる収入	55,451	266,567
長期借入金の返済による支出	△45,297	△52,052
転換社債型新株予約権付社債の取得による支出	-	△2,970
自己株式の処分による収入	96,096	-
配当金の支払額	△34,144	△41,259
非支配株主への配当金の支払額	△20,102	△11,409
その他	△14	25
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,571	324,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,811	5,977
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	45,781	458,838
現金及び現金同等物の期首残高	473,097	420,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	518,878	879,231

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 新型コロナウイルス関連損失

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インド、ハンガリー等で実施されたロックダウンによる工場操業停止に関わる固定費相当額15,428百万円を特別損失に計上しています。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	四輪事業	二輪事業	マリン事業他	計
売上高	2,377,133	182,125	66,811	2,626,070
セグメント利益又は損失(△) (注)1	156,576	27	13,829	170,433

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、注記を省略しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	四輪事業	二輪事業	マリン事業他	計
売上高	1,961,805	145,399	68,327	2,175,532
セグメント利益又は損失(△) (注)1	126,602	△1,447	13,622	138,777

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、注記を省略しています。

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書における営業利益です。

2 各セグメントの主要製品及びサービスは以下のとおりです。

セグメント	主 要 製 品 及 び サ ー ビ ス
四 輪 事 業	軽自動車、小型自動車、普通自動車
二 輪 事 業	二輪車、バギー
マリン事業他	船外機、電動車いす、住宅

(参考情報)

参考情報として、所在地別の業績を以下のとおり開示します。

所在地別の業績

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	計	消去	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	1,001,604	301,075	1,185,128	138,262	2,626,070	—	2,626,070
(2)所在地間の内部売上高又は振替高	469,698	129,394	81,754	89	680,936	△680,936	—
計	1,471,302	430,469	1,266,882	138,352	3,307,007	△680,936	2,626,070
営業利益	91,941	15,107	54,075	5,653	166,778	3,655	170,433

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	欧州	アジア	その他の地域	計	消去	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	926,837	251,505	874,213	122,976	2,175,532	—	2,175,532
(2)所在地間の内部売上高又は振替高	395,201	90,086	54,314	456	540,058	△540,058	—
計	1,322,038	341,592	928,527	123,432	2,715,591	△540,058	2,175,532
営業利益	93,376	4,211	32,966	5,865	136,420	2,356	138,777

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州 ……ハンガリー、ドイツ、英国、フランス

(2) アジア ……インド、パキスタン、インドネシア、タイ

(3) その他の地域 ……米国、オーストラリア、メキシコ、コロンビア

3 当社及び連結子会社の所在地を基礎として区分しています。